

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 加賀・能登の香る家kanoka-かのか-

グループの名称 いしかわ木の家ネットワーク

直近採択グループ番号 06-0533-0347

(グループ代表者)

代表者名	村田 正博	代表者印
代表者所属先	エムエヌ木材株式会社	
代表者所在地	石川県小松市白嶺町3-13	
代表者電話番号	0761-22-5122	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社タッセイ	
事務局担当者名	金子 弘志	印
事務局郵便番号	920-0211	
事務局所在地	石川県金沢市湊3-8-5	
事務局電話番号	076-237-5353	
事務局FAX	076-237-8265	
事務局担当者E-mail	hi-kaneko@tassay.co.jp	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		6	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)			加盟する工務店にまず1棟を努力目標とする。 残棟数が残り10棟時点より一斉メールで都度告知する。 最終的に複数重複した場合は当事者及び事務局立会いのもと抽選とする。						
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 加賀・能登の香の家kanoka-かのか-	(地域型住宅供給対象地域) 石川県・富山県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) いしかわ木の家ネットワーク	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0533-0347	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	【劣化対策】湿気を有効に排出するために外壁を必ず通気工法とする。また小屋裏換気量は基準値の1.25倍を確保する。軒先には雪止めを設置し、落雪を防止する。 【温熱環境】長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅はUA値0.7以下とし、ゼロ・エネルギー住宅はUA値0.55以下とする。中間期の通風を考慮した開口計画を行う。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・積雪が多い地域のため、雪下ろしを行いやすい屋根形状や排雪を行いやすい配置計画とする。 ・高齢者にやさしく同居を想定したバリアフリー設計や、2・3世帯が長く快適に住める、家族の構成変化に対応した可変性に優れたスケルトン・インフィルな住宅を目指す。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・建設地の景観・街並みに配慮した設計とする。 ・夏場の日差しが厳しい箇所は軒の出を深くするほか、日射遮蔽部材で日差しを調整できるように設計を行う。 ・外観の色合いも原色などを極力避け、長く愛されるデザインを目指す。	○
④①～③の背景	【①気候】石川県は日照率の低い日本海側気候型で山岳地方は雪が非常に多く、能登半島の海沿いは風が強い。湿度も高く、夏は高温多湿。冬は逆に晴れる日が少なく雨か雪の日が続く。 【②住まい手の特徴】女性の就業率が高く、2・3世帯同居世帯も多い。生活面での消費支出も高く、若年層の持ち家志向も高い。昔から文化・芸術面での意識が根付いており、形式美を重んずる。よって住宅にも美意識志向が強い。 【③街並み景観】県の中心地金沢においては城下町の趣があり、区画も小さく長屋も多い、能登地方は北に面し農家、漁師町も多く黒瓦の重厚な家も多く残っている。南下すると加賀平野部、白山連峰の地域において豪雪地方造りの家々が連なっている。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	※該当なし	
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: プレカット事業者との協議により、各部位の木材の樹種やサイズの標準化を行う。原則的に柱は120×120以上の大きさとし、積雪荷重や断面欠損に対応する。通し柱のみ金物工法を用いることも検討する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局では省エネ基準を満たすための、断熱材やサッシをまとめた推奨建材リストを作成し、H28年改正省エネ法による外皮計算や一次エネルギー消費量の計算を設計グループと協力したパッケージプランを施工事業者へ提案する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ゼロエネルギー住宅に初めて取り組む施工事業者に向けて設計グループと事務局により、標準仕様書と計算業務をセットで作成し、業務の効率化を行っている。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱材やサッシ、エアコンや給湯器、節水・節湯機器などの設備機器をグループ内で共通の資材を設定し、木材以外の建材流通業者が同一製品を大口契約し、資材・流通のコストの削減を図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 会長・副会長・事務局長により運営上の問題点や次年度にむけた取り組み等を検討する役員会を開催する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: プレカット事業者と事務局とで地域の木材を有効に活用するために無垢材で利用できる金物工法の採用や断熱材のプレカット化による現場での省施工、廃材の削減さらに耐力面材と断熱材をセットにしたパネル工法の活用を推進している。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: PRする場を設ける。また、今期から設計仕様の標準化を行うため設計標準仕様書をグループとして作成し、評価機関と協議を進め申請関係の合理化を進め、工事着工までのスケジュールを短縮する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: フラット35住宅工事仕様書に基づいた施工とし、施工状況が確認できる写真台帳を作成する。施工中の事故やトラブルを防ぐため、工事保険に加入。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 自社の標準施工マニュアルがない事業者が多いため、外部の協力により標準施工マニュアルを作成する。また施工マニュアルに沿った施工がされているか、第三者による最低4回の現場検査を行うスキームを作る。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 専門知識のないすまい手にも分かりやすく仕様や工事内容について詳細に説明し、見積り価格一式提示をやめて明確に表示する。施工事業者はすまい手に説明したことを確認するための「確認書」に記名・捺印を頂く。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地方新聞社などの各メディアと連携し、フリーペーパー・住宅雑誌・新聞記事に当グループの取組み、役員の紹介、加盟する事業者の紹介など広くPRすることでグループの活動内容、地域型住宅の特徴に対する認知度が向上を行う。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者向けに業務効率化につながるITツール勉強会を行い無駄や無理な業務を減らし、完全週休2日制が実現することを目指す。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 大工の担い手育成を県内の業界団体と昨年より実施。将来のキャリアプランは事務局で行っている内装工事の職人育成の実績を生かし、反映する。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築組合や工事業協業組合と連携し、保険加入を促す。さらに工事保険への加入も推進する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者と連携し、年に1度の健康診断実施と協力業者会で安全をテーマに講演やグループディスカッション、現場での実務講習を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	* 地域型住宅を建設する事業者は構造見学会もしくは完成見学会を実施し、これから住まいづくりを検討しているユーザーや地域住民に対しグループの取組みをPRする。ただし、様々な理由(例: お施主様の意向など)で見学会を実施できない場合はホームページや情報誌などでPRを行う。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 加賀・能登の香る家kanoka-かのか-	(地域型住宅供給対象地域) 石川県・富山県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) いしかわ木の家ネットワーク	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0533-0347	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】				◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 自社に維持保全計画書がない施工業者向けに維持保全計画書作成するツールを用意。また計画書に基づいた定期点検を行うチェックシートを使い、決められた点検時期に行う。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 事務局推奨の住宅履歴システム(あんしんいえるて)の活用、もしくは施工業者独自に活用している第三者の住宅履歴システムに履歴情報を蓄積する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 住宅履歴システムに登録した書面を事務局が確認する。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 既存住宅状況調査技術者もしくは建築士の資格を持つ資格者による共通の点検シートで維持保全計画書の点検時期に点検を行う。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 劣化事象に伴い、適切に判断しお施主様に説明する共通シートを作成した。現在、適正価格での補修を行えるように積算ソフト導入を検討している。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 補修箇所の報告書と写真台帳を必ず作成し、住宅履歴システムに保管する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ユーザーが自分でできる点検表を作成し、今後施工業者によるOB顧客向けのイベントで周知する活動を事務局と施工業者で進めていく	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 所属の施工業者による感謝祭などのイベントで木工教室やDIY教室を行っている。事務局としてもイベントの企画、運営、集客のサポートを行う。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 住まいだけではなく相続や医療、介護など暮らしのトータル的なサポートを行う事業をスタート。すまい手が直接相談できる相談会や相談窓口を開設している。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 事務局と施工業者との連携で維持管理の人員不足に悩む施工業者向けに家守りを代行する「家守り事業」を立ち上げて活動している。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある	内容: 該当なし			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 施工者が何らかの理由で建設やメンテナンスが困難になった場合、グループ内の構成員で引継ぎを行い建設・メンテナンスを確実に行う。メンテナンスについては事務局を中心に家守り事業に加盟する各地域の施工業者に引継ぎを行い、すまい手を守り続けていく。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 瑕疵保険会社、第三者の検査会社による過去の事例紹介を事務局主催の施工業者向けの勉強会「工務店アカデミー」で行っている。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】				◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: グループ設立当初より、施工・設計事業者を対象にした勉強会「工務店アカデミー」を実施。長期優良住宅やZEHなどの制度解説から実務者向けの研修を行い、レベルアップを行う。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 壁ボード先行張り・断熱材の気流止など、当会としての施工ルールを作成し配布する。各社ごとオーダーで施工ルールを作る場合は個別に検討会を設ける。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 施工構成員には施工基準通り建材が使用されているかを確認できるように、建築中(施工中)の写真撮ることを義務付けし写真台帳として保管するように促す	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 施工業者の供給体制をヒアリングし、建材や木材の仕入れを最適化する。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: BELS工務店、ZEHビルダーの登録、LCCM住宅のモデル化などグループ全体で施工業者に勉強会を実施し、地域に求められる家づくりを探索する。また、施工業者の若手経営者を対象とした勉強会を実施し、事業継承を促進する。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 現場だけではなく、設計図書の瑕疵で工事品質が担保されないこともあるため設計グループを含めた設計と施工の品質を高めるための研修会を企画する。	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 53名	今年度の参加目標人数 20名
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 38名	今年度の参加目標人数 15名	◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 主催団体との連携し、講習会の案内文を一齐に会員に発信。また事務局のタッセイを中心に省エネ基準の動向やゼロエネルギー住宅の普及に向けた「ゼロエネルギーハウス研究会」を立ち上げ昨年から活動中。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 現場の省施工・廃材の削減・品質の確保を目的にプレカット事業者による耐力壁と断熱材をセットにしたパネル工法を開発。施工業者に向けてPRを進めている。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 省エネ化を行うために空調機器の効率化に寄与する断熱工法、空調システムを検討中。また、地域材を活用した仕上げ材(床材、壁材)を開発するために検討会議を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・未経験工務店が建築主等へ地域型住宅の特徴やメリットを提案できる資料等を充実させ、積極的なアピールのツールとして使用する。 ・未経験工務店に対して、プラン作成から申請まで積極的なフォロー体制を構築する。		◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 加賀・能登の香の家kanoka-かのか-	(地域型住宅供給対象地域) 石川県・富山県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) いしかわ木の家ネットワーク	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0533-0347	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する	
①	共通 ルール (必須)	◎
②	地域材利用の1棟当 たりの割合 (必須)	
③	標準的な地域材の使 用部位 (必須)	
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	○
c	①-1 量の活用	
	①-2 和瓦の活用	○
	①-3 襖の活用	
	①-4 障子の活用	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎

カ. その他

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災地の復興支援のために該当地区の県産材を使った家づくりを検討する。 また、県内の建築関係団体と被災地のためにできることを協議し、地震に強い家づくりを研究する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	グループ内で「応急危険判定士」の有資格者がおり、福井県からの要請で現地で活動してきた。 その経験をグループ内で共有し、復興支援に向けて「ふるさと納税」の活用や新築・既存住宅の耐震化を進める。 また、来期から耐震性能をより強化するために「工務アカデミー」で構造塾を行うことを検討中。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 加賀・能登の香る家kanoka-かのか-	(地域型住宅供給対象地域) 石川県・富山県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) いしかわ木の家ネットワーク	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0533-0347	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

kanoka-ZERO

kanoka-ZERO の特徴

1 : 地域の気候を読む

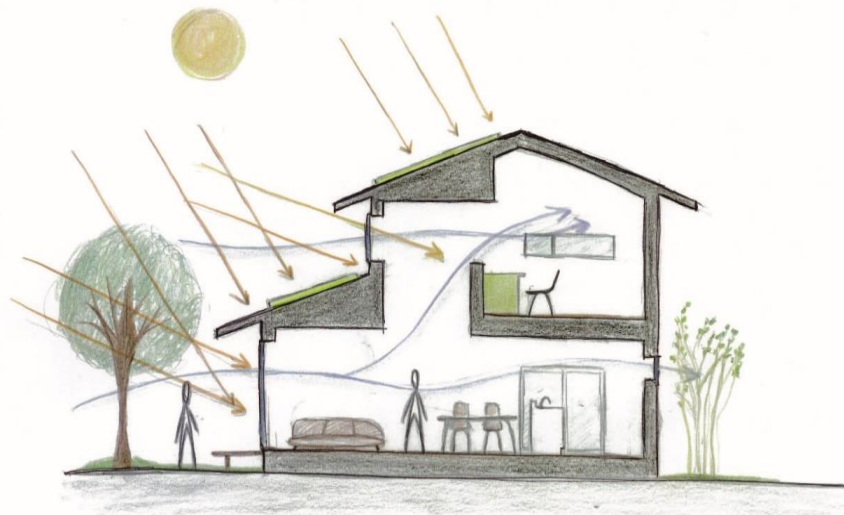
- ・ 太陽の日差しや地域の卓越風に配慮した設計とする。
 ※自立循環型住宅設計ガイドライン 3.1 章「自然風の利用・制御」用気象データ資料（石川県版）を活用
- ・ 物件ごと採光・通風シュミレーションを行う。

2 : 設備機器に頼らないパッシブデザイン

- ・ BELS を取得し、ゼロエネルギー住宅であることを広く P R する。
- ・ 外皮性能は UA 値 : 0.55 以下とする。
- ・ 南向きの開口部には日射遮蔽措置を行う
 レースカーテン、内付けブラインド、紙障子、外付けブラインド、簾などの設置
 もしくは軒の出 600mm 以上のひさし、屋根を設けること。
- ・ 景観や街並みに配慮した設計とする。

3 : 自然素材を活用したナチュラルな暮らし

- ・ 仕上げ材には可能な限り、自然素材を活用する。
 環境にも配慮したサステナブルな住宅作りを推進する。
- ・ 植栽を有効に活用し、夏と冬の日差しのコントロールを行う。



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。